

まつぎき
松崎遺跡出土の人骨について

堀木真美子

1. はじめに

愛知県東海市の松崎遺跡は、知多半島の基部の海岸平野に位置している。遺跡周辺の海岸平野には内陸の海蝕崖から西へ3列の砂帯が存在しており、松崎遺跡は最大規模で最も西の砂帯の北端に位置している。また、遺跡周辺には旧海岸線に沿って製塩遺跡が数多く分布している。本遺跡の発掘調査は愛知県埋蔵文化財センターが国道改良工事に伴い、約2,000m²を昭和63年11月から平成元年3月までの5カ月間に行った。その際に出土した人骨について、観察および計測を行ったので報告する。

2. 松崎遺跡の概要

松崎遺跡は、古くから貝塚を指標とする「古代海浜集落」として認識されていた。愛知県埋蔵文化財センターでは、遺跡想定範囲を南北に縦断する形の調査区について発掘調査を行った。

遺跡の基盤層は黄灰色細砂で、北から中央部分では標高3mをはかり、そこから南部にかけて漸次低下し南端では標高1mとなる。北部の調査区では厚さ約50cmの遺物包含層が認められ、製塩に関した遺物が大量に含まれていた。そのうち製塩土器については知多4類のみが含まれていることから、この地域が8～9世紀に製塩の作業場として使用されていたことが推測された。

また南部の調査区では、貝塚やカマド状遺構が検出され、居住地域を推定されるが、異時期の遺物が混在していることや旧汀線付近であると推定されることから生活基盤としては不安定で、定住地ではないと思われる。遺物は古墳時代後期から平安時代後期までのものを含んでいる。特に古墳時代のものに良好なものが多く、土器類はほとん

どの器種がそろい、鉄製品（釣り針、鏃）・鹿角製品・石製品（双孔円盤、管玉）などがある。

3. 人骨の出土状況

松崎遺跡からは合計3体の人骨が出土した。出土地点は第3図に示した。3体とも黄灰色細砂に包含されていたために土壌の掘り込みは確認できないが、少なくとも1号人骨および2号人骨についてはその姿勢から埋葬されていたものと思われる。また頭蓋骨のクリーニングの際に、筒状の製塩土器の脚部が後頭骨に密着した状態で検出されたことから、この人骨が埋葬された時期は古墳時代後期以降と考えられる。

1号人骨：頭位は西方で、左横臥屈位。左手は握った状態であったが、保持しているものは何もなかった。

全体の保存状態はほぼ良好である。頭蓋骨は左右頬骨弓、上顎の一部、右鼻骨下半部、左右茎状突起、大後頭孔後ろ部などを欠損する。左下顎頭の頰側を欠損している。

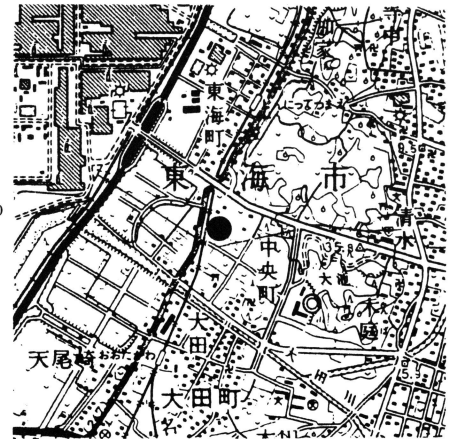
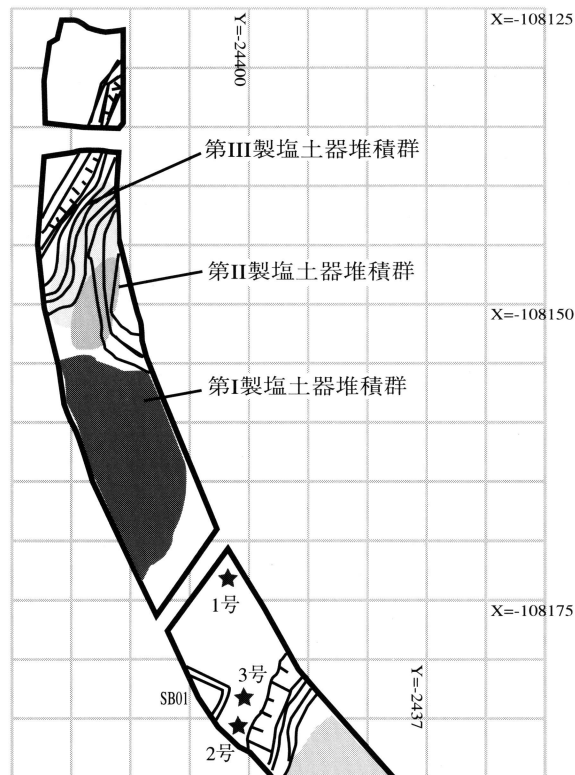
歯列は以下の通りである。

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

(○：歯槽閉鎖 □：遊離歯)

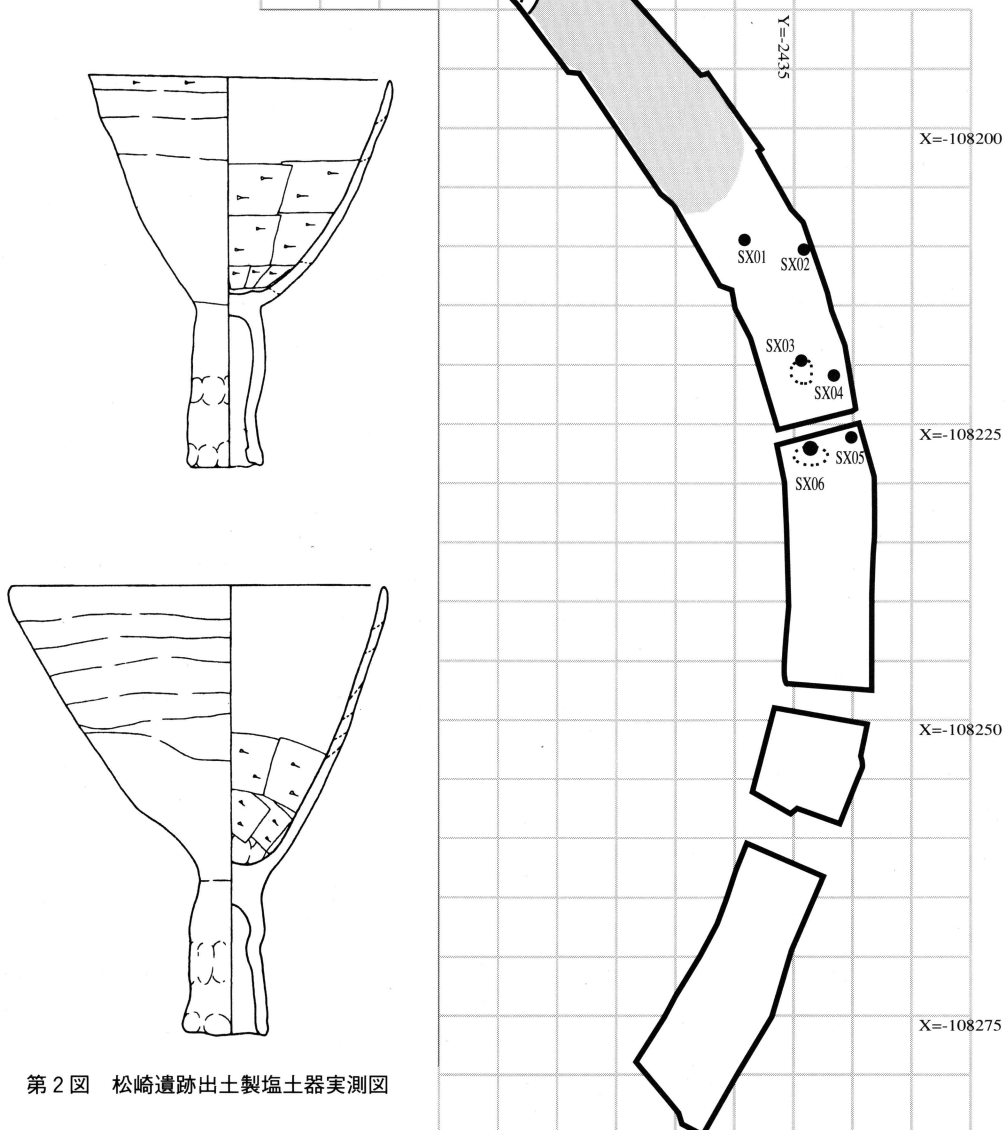
残存する歯はいずれも咬耗が激しく、下顎切歯と犬歯は咬耗が歯頸まで進んでおり、その他の歯でも歯冠の大部分が咬耗によりなくなっている。舌骨は舌骨体のみ。

体幹骨では、第1頸椎から仙骨上部まで残存しているが、すべての椎骨で椎弓部分が破損している。第4、5腰椎に骨増殖が見られる。尾骨は確認されていない。肋骨は右10本、左12本が確認されている。胸骨では左上部を欠損した胸骨柄と胸骨体の左側の破片が確認された。



第3図 遺跡位置図

第1図 松崎遺跡遺構配置図



第2図 松崎遺跡出土製塩土器実測図

上肢骨では、左右肩甲骨はいずれも肩峰・関節窩・鳥状突起部分を残している。左右鎖骨はほとんど欠損していない。左右上腕骨および橈骨・尺骨のいずれも破損していない。手根骨では右の月状骨・豆状骨・三角骨を欠く。指骨では右第1基節骨、末節骨および左第4基節骨・中節骨・末節骨を欠く。

下肢骨も上肢骨同様保存状態は良好である。左右寛骨では恥骨が欠損している。右大腿骨は大転子の一部と外側顆・内側顆の前面部分を欠損する。左大腿骨では内側顆の一部を欠損する。左右膝蓋骨は破損していない。右脛骨は近位端を欠くが左脛骨は欠損部分がない。左腓骨は近位端を欠くが、右腓骨は破損していない。足根骨は、左右ともに全てそろっている。指骨では、右第1基節骨、第3～5中節骨、第1～5末節骨、左第1基節骨、第2～5中節骨、第1～5末節骨を欠く。

性別および年齢の推定：眉上隆起や外後頭隆起があまり発達していないが、寛骨の大坐切痕が鋭角であることから男性と思われる。頭部の縫合はいずれも癒合していないことや歯の咬耗の度合、第3大臼歯が生えていることから、若年の男性であると思われる。

形態特徴：頭蓋、上肢骨、下肢骨の測定値を第1表に示す。頭蓋骨の長幅示数は73.8で長頭に属している。クリブラ・オルビタリアが認められる。また大腿骨の最大長からピアソン（1925）の式を用いて推測される身長は158.4cmとなる。上腕骨では156.9cm、橈骨では155.8cm、頸骨では157.1cmとなる。

2号人骨：頭位は北方で、仰臥伸展位。1号人骨と同様に左手は握った状態であったが、保持しているものはなかった。また頭蓋骨のクリーニングの際に出土した角状の製塩土器の脚部から、この人骨が埋葬された時期は古墳時代後期以降と考え

られる。

頭蓋骨は、出土した状態では顔面がつぶれた状態であったが、取り上げおよびクリーニングの段階で破損を生じ、顔面の計測ができなくなってしまった。残存している部分は、後頭骨および右頭頂骨後部、前頭骨上部および眼窩上縁、左頬骨、右頬骨の一部、左上顎、右上顎前方部である。下顎骨は1号人骨同様保存状態は良好である。

歯列は以下の通りである。

*	*	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	7	8
*	7	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	7	*

(○：歯槽閉鎖 □：遊離歯)

*：未萌芽および不明)

残存する歯は、上顎歯および下顎歯ともにすべての歯において歯冠の半ばまで咬耗によりなくなっている。

体幹骨では第1頸椎から仙骨上部まで残存しているが、椎弓部分および椎体の保存状態はあまりよくない。尾骨は確認されていない。肋骨は左右各12本ずつ確認されるが、左第1肋骨以外はいずれも近位側の破片である。胸骨は認められない。上肢骨では右鎖骨が遠位端を破損している。右肩甲骨は鳥状突起部と関節窩を残し、左肩甲骨は肩甲棘の一部を残存する。右上腕骨は近位端の一部を欠き、肘頭窩に孔が存在する。左上腕骨は確認されていない。右尺骨は完形である。橈骨は遠位端を欠く。左尺骨および橈骨は近位端を欠く。手根骨は左手のものしか確認されていない。月状骨、舟状骨、大菱形骨、小菱形骨、有頭骨、三角骨。指骨は第3、5中手骨、右第1、3基節骨、第1末節骨、左第1～5中手骨、第1、3、5基節骨、第3中節骨、第3末節骨、不明末節骨2点が出土している。

下肢骨では右寛骨は坐骨部を欠き、左寛骨は腸骨の一部と坐骨を欠く。右大腿骨は部破損部分がなく、左大腿骨では大転子が欠損している。左脛蓋骨が確認された。脛骨は左右ともに近位端の

外側を欠損する。腓骨は左右ともに近位端を欠損する。足根骨では右距骨、右踵骨、右舟状骨、左内側楔状骨、左中間楔状骨、左外側楔状骨、左立方骨がある。指骨では右第4中足骨、左第4、5中足骨が確認されている。

性別および年齢の推定：大坐切痕が鈍角であることや腸骨が広いこと、上腕骨に滑車上孔が見られることなどから女性であると思われるが、四肢骨が長く大きいことから、明確に判断ができない。右上顎の第3大臼歯が遊離歯であり下顎の左右第3大臼歯が未萌芽であることから、若年と推定される。

形態的特徴：大腿骨の最大長（左472mm、右466mm）からピアソン式を用いて身長を推定すると、168.9～170cmとなる。

3号人骨：この人骨は頭部のみが出土したもので、頭位および埋葬姿勢は不明である。出土した頭蓋骨は保存状態はほぼ良好であるが、顔面の骨はすべて欠損していた。残存するのは左右頭頂骨、後頭骨上部、前頭骨上部、前頭骨眉間部分、左側頭骨下部、右上顎乳臼歯1本、右上顎第1、2大臼歯である。なお前頭骨には前頭縫合が残存している。

性別および年齢の推定：頭蓋骨と歯以外に残存するものがなく、性別および年齢の推定は困難である。しかし、右上顎の第2乳臼歯がみられること、第1大臼歯が萌出済みでわずかに咬耗が見られるが、歯根が未完成であること、第2大臼歯が未萌出で歯根が未形成であることから、8歳前後であったと推定される。

4. まとめ

愛知県周辺では、古墳時代に属し保存状態が良好な人骨の出土例は、岐阜県大垣市の花岡山古墳の58体を除いて、あまり報告がなされていない。

そこで今回は、愛知県埋蔵文化財センターに収蔵されていた松崎遺跡の人骨について、簡単な観察と計測を行った。この人骨は、供出した製塩土器の破片から古墳時代末期～平安時代末に属すると考えられる。頭蓋骨および四肢骨の計測の結果、大腿骨の最大長から推定される身長が170cmとかなりの高身長になることが確認された。この値は縄文時代から中世にかけての各時代の女性平均身長と比べても高く、松崎遺跡出土の人骨の大きな特徴となっている。

今回の人骨は比較的保存状態が良好なので、今後のより詳細な人類学的な観察や計測によって、東海地方の人骨の形質変化を解明するための重要な資料となると思われる。

謝辞

本稿をまとめるにあたり、長野県看護大学多賀谷 照教授には、性別および年齢をはじめ、多くの御教示を頂きました。記して深謝します。

参考文献

- 池田次郎, 1992, 方形周溝墓出土の弥生時代人骨について, 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第31集 朝日遺跡II, 243-262.
- 池田次郎, 1993, 古墳人, 古墳時代の研究I, 27-95.
- 池田次郎, 1993, 愛知県知多市法海寺遺跡出土の弥生時代人骨, 法海寺遺跡II, 63-77.
- 吉備登・多賀谷昭・寺門之隆, 1992, 花岡山古墳群出土人骨について, 大垣市埋蔵文化財調査報告書第1集 花岡山古墳群, 59-80.
- 福岡晃彦, 1991, 松崎遺跡, 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第20集 松崎遺跡, 110 p.
- 堀木真美子, 1996, 人骨・自然遺物, 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第69集 鳥羽城跡, 49-52.

頭蓋骨	1号人骨	2号人骨
1 頭蓋骨最大長	195.0	
3 グラベロウムダ長	193.0	
5 頭骨底長	104.0	
8 頭蓋最大幅	144.0	
8/1 長幅示数	73.8	
9 最小前頭幅	99.0	
10 大窩前頭幅	123.0	
9/10 横前頭示数	80.5	
11 両耳幅	124.0	
12 最大後頭幅	114.0	
17 バジオンプレグマ高	139.0	
17/1 長高示数	71.3	
17/8 幅高示数	96.5	
23 頭骨水平周	542.0	
24 横弧長	325.0	
25 正中矢状弧長	395.0	
26 正中矢状前頭弧長	140.0	
27 正中矢状後頭弧長	140.0	
28 正中矢状上頭弧長	115.0	
28(1) 正中矢状上頭弧長	100.0	
29 正中矢状前頭弧長	124.0	
30 正中矢状後頭弧長	125.0	
31 正中矢状後頭弧長	103.0	
31(1) 正中矢状上頭弧長	89.0	
40 顔長	114.0	
43 上顔幅	106.0	
46 中顔幅	100.0	
47 顔高	122.0	
48 上顔高	77.0	
47/46 ウィルヒョウ顔示数	122.0	
48/46 ウィルヒョウ上顔示数	77.0	
54 鼻幅	26.0	
57 鼻骨最小幅	10.0	
57(1) 鼻骨最大幅	18.0	
60 上顎歯槽長	65.0	
62 口蓋長	56.0	
66 下顎角幅	103.2	91.6
67 前下顎幅	48.5	45.5
68 下顎長	76.0	70.2
69 オトガイ高	36.3	36.0
69(1) 下顎体高	35.7	32.5
70 下顎枝高	66.1	
71 下顎枝幅	37.3	
71/70 下顎枝示数	56.4	
73(3) 下顎切痕高	13.2	
71(1) 下顎切痕幅	33.0	

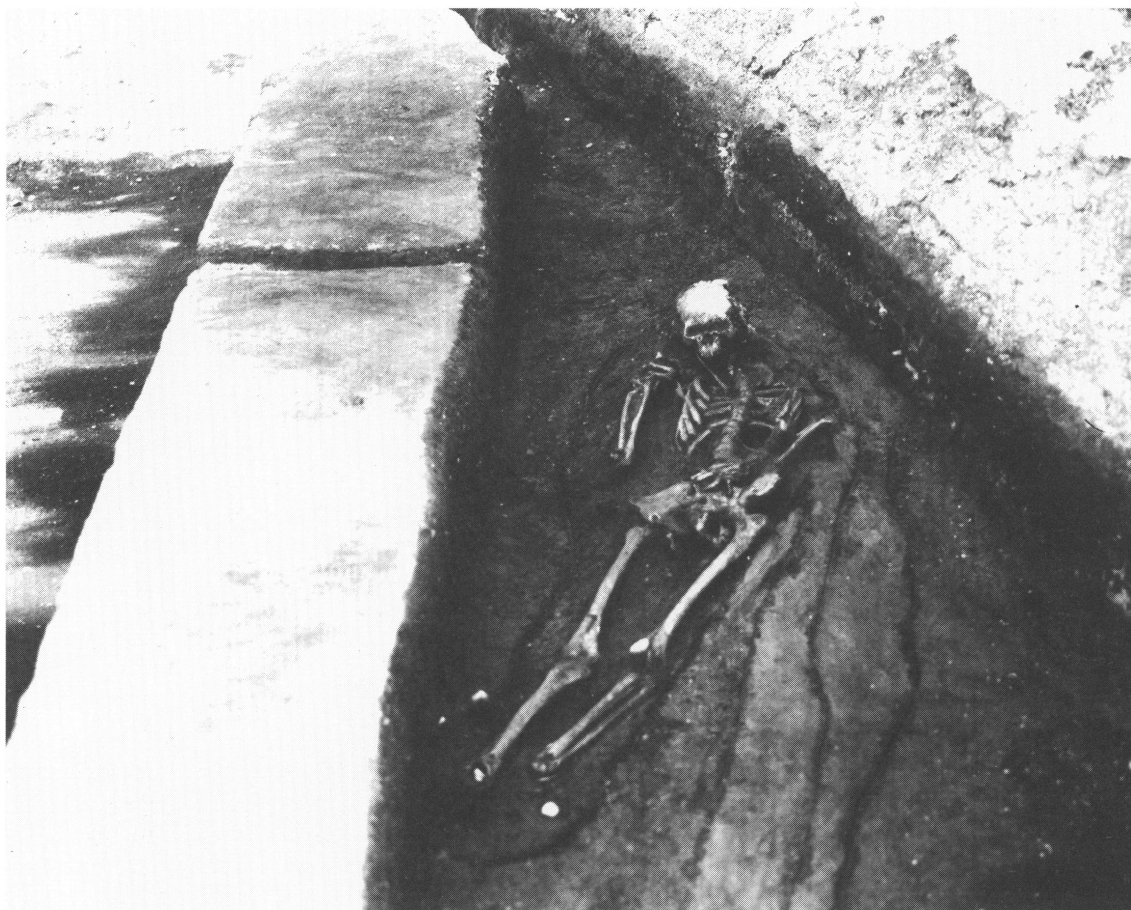
鎖骨	1号人骨	2号人骨
	左	右
	左	右
1 最大長	147.0	
6 中央高	37.0	
6/1 長厚示数	25.2	
4 中央垂直径	7.3	
5 中央矢状径	9.4	
4/5 中央横断示数	78.0	
上腕骨		
1 最大長	288.0	301.0
2 全長	285.5	296.5
4 下端幅	52.4	51.0
5 中央最大径	19.5	19.0
6 中央最小径	17.2	16.6
7 骨幹最小周	56.0	59.0
7a 中央周径	59.0	60.0
7/1 長厚示数	29.8	19.6
7a/1 長厚示数	31.4	19.9
6/5 中央横断示数	88.2	87.4
橈骨		
1 最大長	213.5	220.5
3 最小周	38.0	40.0
4 体横径	14.4	14.6
4(1) 小頭横径	20.0	20.2
4a 骨体中央横径	13.4	14.6
5 体矢状径	11.8	11.8
5/4 体断面示数	81.4	80.8
5(1) 小頭矢状径	20.3	
5(5) 中央周	40.0	41.0
5(6) 下端幅	29.8	29.7
5a 骨体中央矢状径	11.7	11.6
5a/4a 骨幹横断示数	87.3	79.5
尺骨		
1 最大長	233.0	241.0
2 生理長	207.0	212.0
3 骨幹最小周	35.0	34.0
1/2 長厚示数	112.6	113.7
3/2 長厚示数	16.9	16.0
6 肘頭幅	22.5	23.1
11 骨幹矢状径	12.7	11.2
12 骨幹横径	14.6	16.1
11/12 骨幹横断示数	87.0	69.6
13 上横径	21.8	21.9
14 上前後径	21.8	22.7
13/14 扁平示数	100.0	96.5

大腿骨	1号人骨	2号人骨
	左	右
	左	右
1 最大長	410	410
2 自然位全長	405	402
6 中央矢状径	24.9	25.0
7 中央横径	26.7	27.2
6/7 中央横断示数	93.3	91.9
8 骨幹中央周	80.0	83.0
8/2 長厚示数	193.8	20.6
9 骨体上横径	33.0	32.6
10 骨体上矢状径	22.4	32.3
10/9 上骨体横断示数	67.9	99.0
	68.4	67.2
脛骨		
1 全長	330.0	
1a 最大長	333.0	
6 下幅	50.1	45.8
8 中央矢状径	28.2	
9 中央横径	19.3	
9/8 中央横断示数	68.4	
8a 栄養孔部矢状径	31.6	31.7
9a 栄養孔部横径	21.0	22.4
9a/8a 栄養孔部断示数	66.5	70.7
10b 最小周	71.0	71.0
10b/1 長厚示数	22.0	
	75.0	75.0
腓骨		
1 最大長	324.0	
2 中央最大径	13.4	
3 中央最小径	9.0	
3/2 中央横断示数	67.0	
4 中央周	37.0	
4(1) 上端幅	22.0	
4(2) 下端幅	23.0	23.0
	26.0	
距骨		
1 距骨長	48.0	48.6
2 距骨幅	38.0	38.9
3 中央高	28.0	28.0
2/1 長幅示数	79.2	80.0
3/1 長高示数	58.3	57.6
踵骨		
1 最大長	74.0	75.0
2 中央幅	36.9	36.1
		42.0

第1表 松崎遺跡出土人骨計測表



1号人骨出土状態



2号人骨出土状態



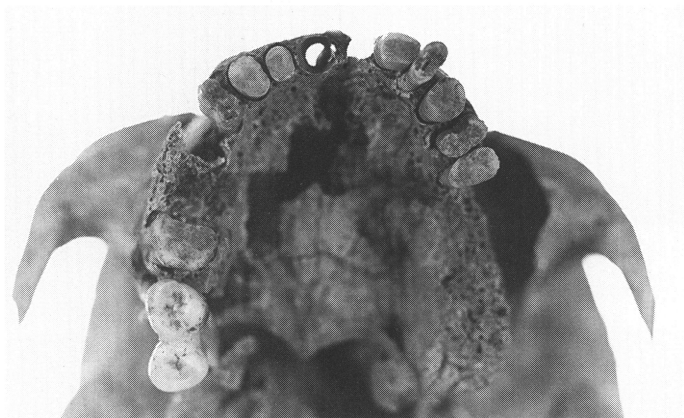
3号人骨出土状態 側面より



1号人骨 前面



1号人骨 側面



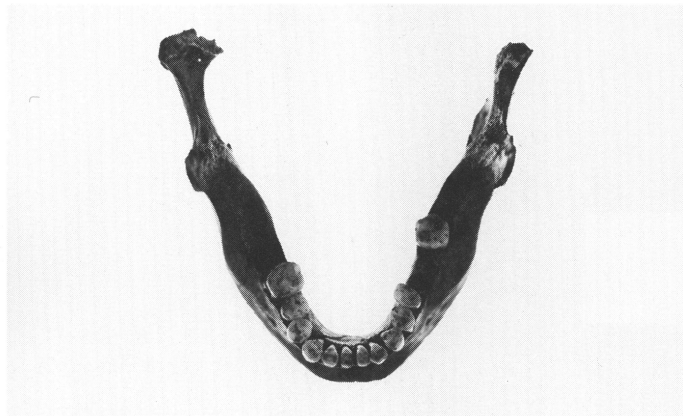
1号人骨 上顎



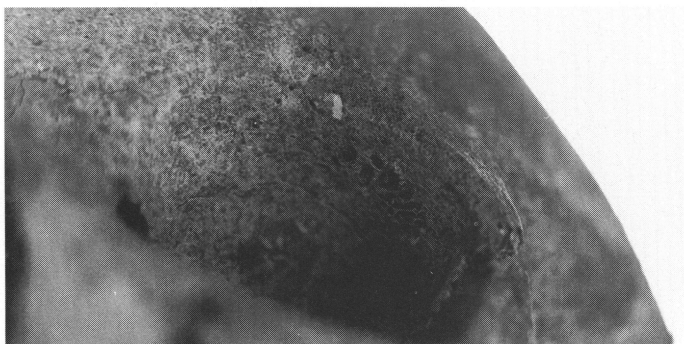
2号人骨 上顎



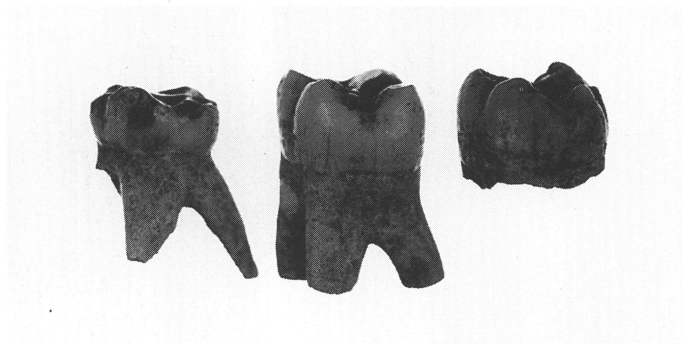
1号人骨 下顎



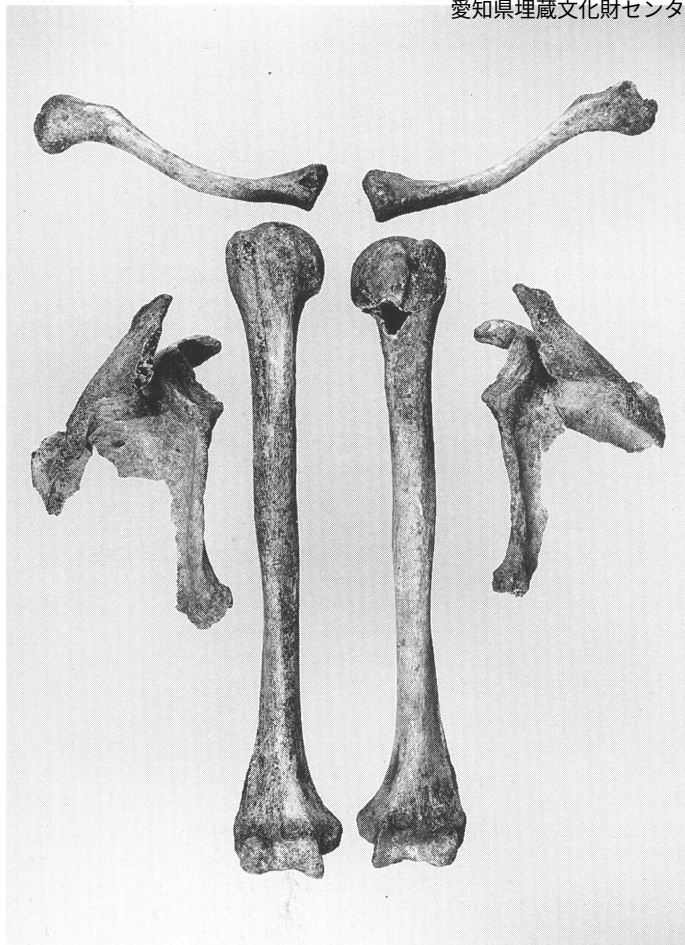
2号人骨 下顎



1号人骨 上眼窩底



3号人骨 歯



1号人骨 上肢帯



1号人骨 大腿骨



1号人骨 橈骨・尺骨



1号人骨 脛骨・腓骨



2号人骨 上肢骨



2号人骨 大腿骨



1号人骨 寛骨



2号人骨 寛骨



2号人骨 脛骨・腓骨